



八景中学校だより
2020. 5. 22
第 1 号
三田市立八景中学校

再スタート！

新入生212人を迎え、全校生徒526人がそろって始まった今年度。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今も臨時休校を余儀なくされています。これまでは登校可能日も設定できませんでした。分散登校ではあるけれど、今日みんなが集えたのは、とても大きな一歩です。これから、安心して登校できる学校にしていくためには、生徒と家庭と地域と学校が、互いを思いやり、手を携えて歩いていかなければと思います。

今年度の学校教育目標は、「自立して目標や夢の実現に挑戦する生徒の育成～自立・夢・挑戦～」です。確かな学力を身につけ、豊かな心を育み、ともに歩み成長していく生徒たちをしっかりと支えるために、また安全・安心で魅力ある学校づくりのために、教職員一丸となって取り組んでまいります。なにとぞ温かいご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

教職員紹介 ～よろしくお願ひします～

校長	細見 和孝	教頭	福岡 孝太郎	
生徒指導	服部 達哉	保健体育	男子バスケットボール	
教育相談	森岡 貴子	数学	女子バレーボール	
学校生活支援教員	南波 直美	養護教諭	金城 佳子	
事務	戸川 和成	校務	植村 利弘	
スクールカウンセラー	久松 智恵	スクールソーシャルワーカー	松本 千代理	
子どものサポーター		A L T	ニマ・エスナチャリ	
学年・学級	名前	担当教科	部活動顧問	
1 年	1組担任	藤原 匡祐	社会	サッカー
	2組担任	畑古 朱美	英語	陸上
	3組担任	貴志 亮	英語	野球
	4組担任	小縣 明佳	保健体育	女子バスケットボール
	5組担任	竹板 宏基	理科	卓球
	6組担任	北林 啓乃	理科	女子バスケットボール
	学年代表	高橋 雅幸	数学	男子ソフトテニス
	副担	上西 律子	新学習・英語	男子ソフトテニス
	副担	友井 克彦	美術	美術
	副担	出水 真理子	国語	野球

学年・学級	名前	担当教科	部活動顧問	
2 年	1組担任	小林 和美	音楽	吹奏楽
	2組担任	越智 脩成	家庭科	サッカー
	3組担任	櫻田 華子	英語	女子ソフトテニス
	4組担任	一色 牧人	国語	美術
	学年代表	元井 祐子	数学	陸上
	副担	尾野上 鉄夫	保健体育	女子バレーボール
	副担	西畑 明	理科	卓球
	副担	小出 航平	社会	ソフトボール
3 年		久保 好子	新学習・国語	
	1組担任	山元 啓史	保健体育	水泳
	2組担任	片瀬 真子	社会	吹奏楽
	3組担任	藤田 克麻	英語	野球
	4組担任	多田 史恵	理科	卓球
	学年代表	佐藤 真由美	新学習・数学	柔道
	副担・進路	本松 岳志	数学	水泳
	副担	山崎 定美	技術	家庭科
チャ レン ジ	副担	大森 秀壱	国語	男子バスケットボール
		済木 隆夫	3年数学	
	チャレンジ1	鈴木 美智代		女子ソフトテニス
	チャレンジ2	藤原 智子		ソフトボール
	チャレンジ3	甲斐 光		陸上
	チャレンジ4	八木 未央		家庭科
	チャレンジ5	井上 大地		柔道
		西田 育美		
	清水 葉瑠佳			
	辻下 徹			

子どものサポーターは、決まり次第お知らせいたします。

登校日に合わせてお出迎え

5月20日まで殺風景だった花壇が、元気に華やかになりました。登校してくるみんなに、少しでも穏やかな気持ちと元気を与えられたらという思いから、タイミングを合わせて作業していただきました。真っ赤なサルビアをチョイス。サルビアの花言葉は、「尊敬」「知恵」「家族愛」、赤のサルビアは「燃える思い」です。この花壇には、



そんな思いが詰まっています。新型コロナウイルス感染症対策の中、いつも以上に大変な作業だったようです。学校は、様々な方の協力によって支えられています。

ピンチをチャンスに変える力を！

「雪見だいふく」というアイスを知っていると思います。アイスは暑い夏に食べるものという考えが一般的だった頃の話です。1981年に「冬でも売れるアイス」を作りたいという強い思いから生まれたそうです。アイスを餅でくるんだ大福餅のような形が特徴のこの商品は、菓子メーカーのロッテが研究開発を重ね、冬でも食べたくなるように様々な工夫がなされています。まずは、冷凍してもかたくなならない「ぎゅうひ(餅のような部分)」を開発して柔らかい食感を実現し、アイスは餅に合うようによりクリーミーに仕上げたそうです。また冬に販売するのだから、パッケージには暖色系の赤色を採用し、温かくほのぼのとしたイメージを作ろうと意識したそうです。その結果、「冬にアイスは売れない」という常識を破り、大ヒット商品となり、まさに「アイスは夏」という固定観念を打ち破りました。

私たちは気づかぬうちに、「これはできない」という思い込みを抱いているのかもしれない。しかし発想の転換と工夫があれば、その枠から飛び出すことができます。誰もが無理だと思っていることにこそ、新たな可能性やチャンスがあるのです。

そのために必要なことは、考えることを楽しむ力であり、当たり前疑問を感じる力です。その力のスイッチは、だれもが持っています。興味や関心を抱くことです。

学校生活が昨年までに経験してきたものと大きく変わっている今だからこそ、私たちも変われるときなのです。一人ひとりが、ピンチをチャンスに、弱点を強みに、不可能を可能にできるよう、互いに励ましあっていきましょう！

《学校教育目標》

自立して目標や夢の実現に挑戦する生徒の育成 ～自立・夢・挑戦～

《めざす学校像》

- 活気に満ち、規律ある学校 → 気持ちのよいあいさつができる学校
- 学ぶ環境の整った美しい学校 → 丁寧にそうじができる学校
- 教職員が意欲的に研修し、指導力向上に努める学校
 - 学び続ける意欲と行動力のある教職員がいる学校
- 家庭・地域と連携し、一体となって取り組む学校
 - 保護者・地域の思いに向き合い、信頼と支援が得られる学校

《めざす生徒像》

- 夢や志をもつ生徒
- 思いやりを持ち、互いに認め合い高め合える生徒
- 自ら考え判断し行動できる生徒
- 自分や八景中学校に誇りをもつ生徒

【中学校区共通目標】 人も自分も、学校もふるさと大切にできる子